

コード	304010301
記入日	H26.6.4

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	野中 絵理子

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	民間保育所運営費補助事業（経営基盤強化補助事業）
----------	--------------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ～ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040103	事務事業名称	民間保育所運営費補助事業費	細目コード	256
関連計画	次世代育成支援地域行動計画	法令・条例規則等	新上五島町民間保育所運営費補助金交付要綱		

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 民間保育園		(対象指標1) 実施保育園数 6箇所				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・民間保育所（桐保育園、青葉保育園、白菊保育園、歓喜園、つばみ幼兒園、福見保育園）に対して、経営基盤強化補助金を交付した。	***** 実施保育園数	***** 6箇所	***** 100%	***** 補助保育園数÷ 私立保育園数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	全民間保育所に対して補助を行った。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・民間保育園の健全な経営を図ることを目的としている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 入所児童数	***** 242人	***** 100%	***** 入所児童数÷ 入所希望児童数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	健全な保育サービスの提供を行った。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 箇所	57	57	51	6	6					
	②										
成果指標	① 人	2,485	2,485	2,243	242	242					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	24,687	24,687	22,078	2,609	2,609					
直接事業費 A	千円	24,687	24,687	22,078	2,609	2,609					
人件費 B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	24,687	24,687	22,078	2,609	2,609					

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	私立保育園の経営強化を図ることで、健全な保育サービスが確保される。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	公立と私立の格差是正が図られている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	必要最小限の補助であり向上の余地はない。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	公立と私立の格差是正が図られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理 由	必要最小限の費用で助成している。	

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	公立・私立保育所間の保育環境格差是正のためにも引き続き支援を行っていくこと。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●								
					事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。